

令和2年度岡山市区づくり推進事業一覧（中区）

	事業名 団体名	事業部門 実施小学校区	開催日・場所(予定)	概要
1	第23回百間川ふれあいフェスティバル 百間川ふれあいフェスティバル実行委員会	広域交流部門 宇野・旭竜・高島 幡多・財田 竜之口・三敷	令和2年4月26日(日)【中止】 中区東川原地先 百間川ワイワイ広場 令和2年7月29日(水) ～31日(金)【中止】 岡山市中区役所1階区民ホール	地域との連帯感を醸成するだけでなく、地域の発展と自然環境に対する認識、百間川の歴史・役割など、河川の果たす治水・利水、環境美化など協働してのまちづくり・市民づくりを推進する。
2	たかしま音楽祭・2020 高島音楽祭実行委員会	広域交流部門 高島・旭竜	令和2年5月30日(土)【中止】 中区今在家地先 百間川せせらぎ広場	市民の憩いの場となっている百間川沿いの「せせらぎ広場」で地元小学生、中学生の吹奏楽を中心とした「地元民による地元民のための音楽祭」である。当音楽祭開催により人々の交流が深まり、互助の精神が養われる。
3	操明学区「桜祭り」 操明学区桜並木実行委員会	身近な交流部門 操明	令和2年4月5日(日)【中止】 岡山ふれあいセンター 芝生広場・ 軽スポーツ広場	学区内の百間川西岸土手にある180本以上の桜並木を貴重な社会資本として育て、桜並木の周知と自然環境の保全・整備の大切さを訴える事業で、活発な学区の活動を広く紹介する場として活用する。
4	三世代交流ふれ合いフェスタウの2020 三世代交流ふれ合いフェスタウの実行委員会	身近な交流部門 宇野	令和2年7月25日(土)【中止】 宇野小学校	学区内各種団体・ボランティアとの交流を図り、また、三世代交流及び障害者交流の場を提供し、地域の連帯感を醸成するとともに、防災・交通安全、環境美化の意識向上に向けてふれ合いのある住みよい明るい地域づくりを図る。
5	ふれあい夏まつりin竜之口 ふれあい夏まつりin竜之口実行委員会	身近な交流部門 竜之口	令和2年8月22日(土)【中止】 竜之口小学校	新興住宅地として発展し、人口増加が著しい地域である一方、「人と人、人と地域、地域と地域」との絆が希薄になりつつある中で、地域が一体となれるよう学区民が協働して事業、目的に心を一つにして取り組み、地域への参加が躊躇なくできるよう推進する。
6	第18回富山文化まつり 富山文化まつり実行委員会	身近な交流部門 富山	令和2年10月24日(土)・25日(日)【中止】 富山小学校体育館 及び富山公民館	文化まつりを通じて、学区民・各種団体の協力により、学区が発展するよう明るく、楽しく、活気あふれる地域づくりを推進する。
7	平井まつり“2020” 平井まつり実行委員会	身近な交流部門 平井	令和2年10月31日(土)【中止】 平井小学校	学区の各種団体が一致団結し世代を超えて誰でも交流できる場をつくることで、「わがまち平井」を再認識し、住民相互のコミュニケーションを充実させ、心豊かで活力あるまちづくりを推進する。
8	第32回沢田柿まつり 沢田柿まつり実行委員会	身近な交流部門 幡多	令和2年11月15日(日)【中止】 中区沢田地先 百間川河川敷 (沢田橋東 多目的広場)	沢田地域特産の富有柿を通じて地域の魅力を発見し、愛着を高め、地域住民の交流を深めることを目的とし、地域団体のメンバーが企画段階から参加することで地域の一体感を構築する。
9	地域づくり会議の運営と事業展開 平井学区地域づくり会議	地域活動部門 平井	令和2年4月～令和3年3月	地域に密着した情報の共有や課題解決の場とし、解決に向けた話し合いや方向性、支援体制等を総合的に調整し推進することにより、地域で支え合い、安全で安心して暮らせる平井学区を目指している。「認知症予防対策事業」「子育て世代の課題解決事業」等の拡充に取り組む。
10	地域防災力の向上 ～災害犠牲者を出さない～ 富山学区連合町内会	地域活動部門 富山	令和2年4月～令和3年3月	各町内会・自主防災会を中心として、地域に応じた具体的な防災対策を講じ、防災意識の向上を図る。令和3年6月の総合的な実地訓練実施を目指し、今年度はそのための準備期間と位置付ける。
11	とみやま助け合い隊 とみやま助け合い隊	地域活動部門 富山	令和2年4月～令和3年3月	「自助・共助を基本とし、住民自らが住みやすいまちをつくること」をモットーに、地域住民が抱える日常生活上の困りごと解決のためのシステムを構築し支援を提供することにより、「いつまでも住み続けたい富山」の実現を目指す。
12	竜之口学区防災マップ作成 竜之口学区防災マップ作成実行委員会	地域活動部門 竜之口	令和2年9月～令和3年3月	個人・地域・行政が情報共有しやすい仕組み作りを目的として作成した「竜之口学区防災マップ」について子ども・高齢者に見て判りやすいマップに改良を加え、避難訓練や平常時の訓練での活用を目指す。